

創 刊 の 辞

名誉総長 熊 谷 太 三 郎

福井工業大学は福井短期大学を母胎として昭和40年4月に開学し、すでに満6年の歳月を経過したのである。その間、教授陣容の充実、施設設備の整備をはじめ諸般にわたって鋭意努力した結果、着々とその成果をあげ、現在、北は北海道から南は沖縄まで全国41都道府県より多数の有為な青年を迎え、また500名を数える卒業生は社会の各方面で花々しい活躍をしている。

このたび、かねての願いであった研究紀要創刊号を発刊する運びとなったことは、わたくしども一同慶びに堪えないところである。大学の使命は学徒の育成と同時に学術の研究にある。特に今日のように科学技術が文字どおり日進月歩する時代においては、立派な工学教育を行なうためには高度の研究が必須の条件となるわけである。本学教員各位がこのことに思いをいたし、より一層研さんに努め、本誌が号を重ねるにしたがって、ますます充実した内容のものとなることを期してやまない。

創 刊 の 辞

学 長 高 敏 郎

わが福井工業大学は昭和40年開学以来 6 年をけみし、専門学科として電気、機械および建設の 3 工学科を擁して、北陸地方には数少ない私立大学の一つとして貴重な存在視されています。

平和にして幸福な社会の建設に挺身する人材を理想とする有為な学生の育成に鋭意努力を傾注する傍ら、未だ完備の状態とは申せぬ設備の下に各教員はそれぞれ好むテーマを捉えて研究に没頭の姿はまことに頼母しく、このたびその成果を紀要にまとめて発表の運びとなったことは喜びに堪えないところであります。

各論文について広く世のご批判を仰ぎ、今後さらにその深奥を究めることを希うしだいであります。

ここに紀要の創刊に当り、一言粗辞を述べてご挨拶といたします。